

規律正しい、正確な動きを披露

市消防操法大会

第13回匝瑳市消防操法大会が6月2日、市役所南側駐車場で行われ、消防団員による規律正しい、正確な動きが披露されました。

ポンプ車の部では中央分団第4部が、小型ポンプの部では飯高分団第1部がそれぞれ最優秀賞（優勝）に輝きました。大会上位の結果をお知らせします（敬称略）。

■ポンプ車の部（出場10か部）

▽**団体表彰** 最優秀賞…中央分団第4部 優秀賞…野田分団第2部 優良賞…中央分団第1部
▽**個人表彰** 指揮者…林正徳 1番員…及川則男 2番員…大川修弥 3番員…野中智晃 4番員…山中聖士

■小型ポンプの部（出場15か部）

▽**団体表彰** 最優秀賞…飯高分団第1部 優秀賞…共興分団第2部 優良賞…椿海分団第1部 敢闘賞…野田分団第3部 努力賞…吉田分団第2部
▽**個人表彰** 指揮者…高橋直道 1番員…秋山大地 2番員…伊藤澄人 3番員…石井孝幸

※両部門の上位2か部は、本市代表として海匝支部消防操法大会（6月30日に本市で開催）に出場しました。



中央分団第4部



飯高分団第1部



（左から）齋藤さん、梶山さん、太田市長、木川さん。全国大会への出場を控えた5月21日に市役所を訪れ健闘を誓った

タイハイ弓道部が準優勝

全国勤労者大会に出場

タイハイ株式会社弓道部の木川寿真さんと齋藤健夫さん、梶山裕介さんの3人で構成するチームが、全日本勤労者弓道選手権大会に出場し、見事、準優勝に輝きました。

同チームは、3月開催の県予選会で2連覇を達成し、2年連続で全国への切符を獲得。6月7日～9日に鹿児島県で行われた今大会では、予選を経た16チームにより争われた決勝トーナメント戦を勝ち進み、第2位の成績を収めました。

選手兼監督を務めた梶山さんは、「昨年の2次予選敗退の悔しさをバネに、今年は前進できました。新しい課題も見つけられ来年は優勝を目指したいです」と大会を振り返りました。

仕事体験を通じ郷土愛を育む

県民の日記念イベント

県民の日を記念した海匝地域のイベント「さんさん★フェスタ2019」が6月8日、そうさ記念公園で行われました。

これは、展示や体験などの“お仕事体験”を通じて子どもたちに地元の産業を知ってもらうことを目的としたものです。会場には、消防車やパトカーなどの働く車が勢ぞろいした他、さまざまな仕事体験を実施。地元製品の販売やご当地キャラクター紹介なども行われ、にぎわいを見せました。



ご当地キャラクターたちによるショーの様子



初期消火活動に尽力
馬場さんに消防長感謝状

消火活動に当たった馬場さん（右）へ感謝状が手渡された

火災現場にいち早く駆け付け、初期消火作業に当たったとして、匝瑳市横芝光町消防組合から馬場誠さん（八日市場イ）に対して感謝状が贈られました。

馬場さんは4月21日、帰宅途中に八日市場イ地先の飲食店から黒い煙が上がっているのを発見、店内からの出火を確認し、その場にあった消火器を用いて消火活動に当たり被害を最小限に留めました。贈呈式は5月30日に消防本部で行われ、佐久間消防長から馬場さんへ感謝状が手渡されました。

伝統の技を中学生が体験

保存会メンバー(左)から
箕作りの工程を学ぶ生徒



八日市場第二中学校で6月11日、国の重要無形民俗文化財に指定されている「木積の藤箕製作技術」を学ぶ教室が開かれました。

地域の伝統工芸を「科学的に捉える」ことを目的とした理科の授業の一環で、1年生を対象に実施。生徒たちは、箕作り技術保存会のメンバーから手ほどきを受けて、熟練の技法を体験しました。

小学1年生へ防犯グッズ贈呈

平山会長(八日市場第一中学校
長)にグッズを手渡す蝦名
署長(4月16日、匝瑳署提供)



市内小学校の1年生へ、匝瑳警察署から防犯啓発グッズが贈られました。

贈呈されたのは、「ついて“いか”ない」「他人の車に“の”らない」などのメッセージを込めた防犯標語「いかのおすし」を紹介する鉛筆と消しゴムのセットで、匝瑳市学校警察連絡委員会を通じて、全10校の1年生236人に配られました。

丹精込められた作品を展示

最優秀に当たるさつき会長賞の
受賞作「浮雲の月」



八日市場公民館で5月24日～26日、第44回八日市場さつき展示会(市観光協会主催)が開かれ、丹精込めて育て上げられた作品の数々が、多くの来場者を魅了しました。

▽各賞受賞者と作品名(敬称略) さつき会長賞…米本勝吉「浮雲の月」 県知事賞…椎名正司「日光」 市長賞…越川征三郎「春翠」 市議会議長賞…小関弘「明美月」 市観光協会会長賞…山中照清「寿光冠」

いつまでも健康な歯で

よい歯のコンクール

匝瑳市よい歯のコンクールが5月23日、保健センターで行われました。

これは、歯の健康状態が良い80歳以上の人と、3歳児歯科健診で虫歯が無く歯並びの良かった子とその親を対象に毎年実施しているもので、今年は高齢者4人、親子14組が参加しました。

歯科医師による審査の結果、高齢者の部では吉岡誠治さん(椿)が最優秀賞に、親と子の部では鈴木輝洋さん・瑠菜ちゃん親子(春海)と土屋朱音さん・尋くん親子(飯倉)の2組が優秀賞に輝きました。



(左から)鈴木さん親子、吉岡さん、土屋さん親子

レスキュー大会 2種目で県1位に

関東、全国大会出場へ

県内各消防本部がレスキュー技術を競う大会が、県消防学校で6月4日に行われ、匝瑳市横芝光町消防組合チームが「ロープ応用登はん」「ロープブリッジ救出」*の両競技で1位に輝きました。

応用登はんには、古瀬消防士長と佐藤消防副士長が、ブリッジ救出には、古作消防司令補と土屋消防士長、森消防士長、仲田消防副士長が出演し、いずれも大会過去最高タイムで優勝。両チームは本県代表として、応用登はんは8月開催の全国大会に、ブリッジ救出は7月開催の関東大会に出場します。

*ロープ応用登はん: 2人1組で、登はん者が地上15メートル地点までロープのみで登る。ロープブリッジ救出: 4人でチームを組み、高所に張られたロープをつたい反対側の建物へ渡り、要救助者を救出して戻ってくる。(両競技ともその確実性と所要時間で順位を競う)



成績報告のため組合長である太田市長の元を訪れた救助隊メンバーら(6月6日・匝瑳市役所)